

各位

会社名 株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
代表者 代表取締役社長 社長執行役員 長瀬 朋彦
(JASDAQ コード番号6879)
問合せ先 取締役常務執行役員 経営管理管掌 角田 光敏
TEL 03-6741-5742
URL <http://www.imagicarobot.jp/>

第49回ギャラクシー賞でロボット制作の2作品が受賞

～TVドラマ「鈴木先生」、TVCM「OTONA TSUTAYA」～

当社子会社の株式会社ロボットが制作するTVドラマ「鈴木先生」が、第49回ギャラクシー賞テレビ部門優秀賞を、TVCM「OTONA TSUTAYA」が同CM部門選奨を受賞しましたので、お知らせいたします。

(添付資料 全3枚)

株式会社ロボット ニュースリリース

『第49回ギャラクシー賞にて、TVドラマ「鈴木先生」、TVCM「OTONA TSUTAYA」の2作品が受賞
「鈴木先生」がテレビ部門優秀賞、「OTONA TSUTAYA」がCM部門選奨を受賞』

以上



第49回ギャラクシー賞にて、
TVドラマ「鈴木先生」、TVCM「OTONA TSUTAYA」の
2作品が受賞

「鈴木先生」がテレビ部門優秀賞、「OTONA TSUTAYA」がCM部門選奨を受賞

株式会社ロボット（本社：東京都渋谷区 社長：加太孝明）が制作するTVドラマ「鈴木先生」が、第49回ギャラクシー賞テレビ部門優秀賞を、TVCM「OTONA TSUTAYA」が同CM部門選奨を受賞しましたので、お知らせいたします。



©「鈴木先生」製作委員会

TVドラマ「鈴木先生」



TVCM「OTONA TSUTAYA」

ギャラクシー賞は、1963年に放送批評懇談会によって創設され、文化に貢献した優秀な番組・個人・団体に贈られる国内有数の賞です。年に一度、「テレビ」「ラジオ」「CM」「報道活動」の4部門で審査されるほか、各部門に月間賞などの独自の賞があり、国内のテレビ番組作りの最高の栄誉の一つとされております。

今回、テレビ部門からは、大賞1本、優秀賞3本、選奨10本、奨励55本が選出。CM部門からは、大賞1本、優秀賞2本、選奨10本、奨励11本が選出されました。過去のギャラクシー賞において、ロボットは8作品（全てCM部門。CM賞1作品、奨励7作品）の入賞を獲得してまいりましたが、テレビ部門での優秀賞ならびにCM部門での選奨の獲得は初となります。TVドラマとTVCMという、2つの部門で共に受賞できたことは、ロボットの幅広い制作領域を示すものといえるでしょう。今後とも「エンタテインメントを通じて勇気と希望を社会に与える会社」として、良質な作品作りを追求していきます。

◆放送批評懇談会による2作品の講評（GALAC 2012.7月号より）

「鈴木先生」

過去、学園ドラマからは時代を代表するさまざまな名物教師が生まれましたが、本作の鈴木先生は21世紀を代表する新しい教師像といえるでしょう。自分の頭で物事を考えて議論することの面白さと重要性を伝える熱いメッセージ性と、エンタテインメントとしての軽やかさが両立していたところも見事です。学園ものにありがちな「今回はこの生徒のお話」というバラバラな描き方に終始せず、生徒同士の関係性のなかから各々の個性を浮かび上がらせる手法も効果的でした。

「OTONA TSUTAYA」

イタリアの市井のおじいちゃんやおばあちゃんが、自分の気に入った映画のセリフやシーンを演じる、というほのぼのした映像フラッシュ。旧作の名画をストレートに見せるのではなく、違った切り口で楽しませてくれる、というところがポイントです。人生の楽しみ方を知っている登場人物の笑顔には、漠然とした不安を持つ、我々日本人が今学ぶべき点があるはずです。

◆ 作品の受賞履歴

TV ドラマ「鈴木先生」

- ・ 日本民間放送連盟賞テレビドラマ番組部門最優秀賞 (2011年9月)
- ・ 第38回 放送文化基金賞テレビドラマ番組賞 (2012年5月)
- ・ 第49回 ギャラクシー賞 テレビ部門 優秀賞 (2012年6月)

TVCM「OTONA TSUTAYA」

- ・ 第65回 広告電通賞 生活文化部門 最優秀賞 (2012年5月)
- ・ 第49回 ギャラクシー賞 CM部門 選奨 (2012年6月)

◆ お問い合わせ

本リリースと広報に関するお問い合わせは、下記までご連絡をお願いします。

株式会社ロボット 管理本部（広報担当） 中上川 康二

TEL :03-3760-1064 press@robot.co.jp